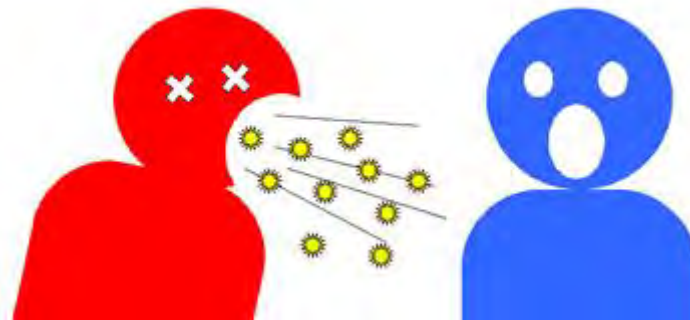


「感染症対策リストと FMリスクマネジメントの見直し」

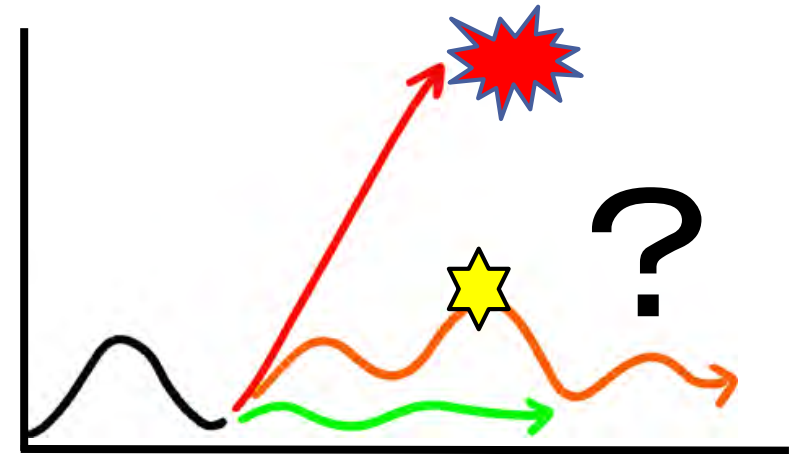


JFMAリスクマネジメント研究部会

本発表はJFMAの統一見解ではありません。また発表に関する著作権等はリスクマネジメント研究部会に属しますので無断複製はご遠慮ください。

「Withコロナ」時代

感染拡大(終息)の未来予測が困難であり、可能性を想定するしかない時代。



- テレワークの導入(ネットワーク化とマンパワーの分散)
- 対人距離確保等の感染予防に留意した行動様式
- 「災害+災害」の複合災害の常態化

『政府や企業は費用対効果と効率性を追い求めてきたが、これからは「リスク回避」と、いわゆる「レジリエンス」(困難な状況に直面したときに発揮できる強靱さや回復力)の管理に重きをおくような戦略に転換せざるを得ない』

「ニューノーマル」提唱者モハメド・エラリアン氏

新型コロナウイルス

「新興感染症の破壊力」

- 世界経済に大打撃
- 社会のあり方に変革を迫る
- 新興感染症対応の難しさを痛感
- 健康リスクと医療・防疫体制への関心増
- 未知なるものへの恐怖と萎縮による打撃
- まだ、収まっていない。いつまで、どのように続くのか推測の域をでない

まだ、楽観はできず備えておく必要がある。

対策リスト①

方針に関する 事項	企業としての基本方針
	安全衛生にかかわる基本方針(健康管理・勤怠等)
	感染者発生時の対応基本方針
FM戦略	ニューノーマルに向けた中長期のFM戦略の見直し
	働き方改革およびテレワーク対応による当面のオフィス運用の見直し
	ニューノーマルに向けたワーキングスペース環境整備
テレワーク対応	テレワーク対応スペースの確保
	自宅以外のテレワーク場所の確保と感染予防対策
	情報発信用スタジオ設備の設置

対策リスト②

行動自粛関係	災害等事案発生時の自宅使用備品の確保に関する 事前啓発
	移動先休憩・宿泊場所確保
	来客時防護機材(マスク・フェイスシールド・手袋・消毒 剤等の確保)
	調達先の再確認
	新規調達先の検討
	資機材・交換部品の確保・不足時の代替え措置検討
	工事等工程再確認・遅延時の対応検討

対策リスト③

施設・設備・ 運用①	オフィスデザインの感染症対策体制へのシフト
	手洗い・消毒・検温スペースの確保
	1部門2チーム・別オフィス体制
	テレワーク対応オフィス区画の設置
	不特定多数利用区画の使用停止
	ロッカー室・更衣室の密集対策・清掃消毒の徹底
	飲食スペースの対人距離確保等感染予防対策
	飛沫防止間仕切り、空気清浄機等の設置
	換気および温度・湿度管理
	施設利用予約制

対策リスト④

施設・設備・ 運用②	施設管理機材の在庫管理
	清掃消毒頻度増加対策
	共用機器の停止(給茶機・自販機・冷蔵庫)
	清掃・消毒機材・検温機材・感染者発生時の対応機材
	マスク・防護服・手袋・ゴーグル・faceシールド等社用資材の準備
	施設内「集・近・閉」箇所の再点検および改善措置
	移動経路の再検討
	濃厚接触者特定対策
	エレベータ利用ルールの変更

対策リスト⑤

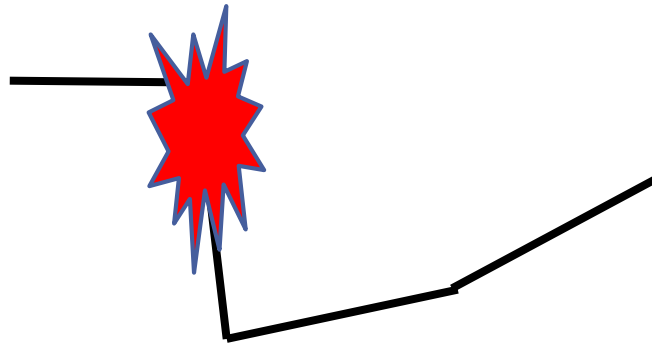
危機管理	自衛消防隊編成の再確認
	災害対策本部等の設置場所および開催方法の見直し
	テレワークでの災害対応訓練の実施
	セキュリティレベルの維持

対応の検討手順

- ①事案発生
- ②事前準備対策の実施
- ③情報収集
- ④事後対策の追加実施(「守るべきモノを明確化」
キーワード「顧客」「社員」「組織」)
- ⑤対策の評価
- ⑥改善策の検討・実施

FMにおけるリスク

リスク・・・目的に対する不確かさの影響（可能性と結果により検討）

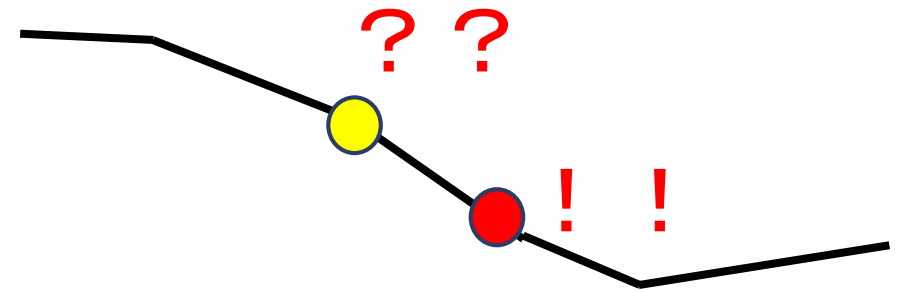


事案発生により大きなインパクト

地震・津波

台風・風水害

停電等ライフライン寸断



だらだらと影響・ある時「アッ」と気が付く

感染症

陳腐化・老朽化

市場・社会の変化

リスク・発生事象と結果事象

発生事象・・・建物損壊・傷病者発生等の被害⇒対策

結果事象・・・オフィス使用不能等の影響⇒対応

発生事象

結果事象

地震



建物損壊
死傷者発生
道路損壊・・・

建物使用停止
要員欠員
物流停滞・・・

感染症



傷病者発生
評判・モラル
自粛・制限・・・

要員欠員
マインド低下
市場崩壊・・・

感染症によるFMリスクの変化

新型コロナウイルスの感染拡大が原因となり、テレワークが急激に浸透した。(発生事象)

オフィス内の人員は急減し、必要性が問われた。
施設としての感染防止策が問題となった。(結果事象)

- ◆施設内での感染拡大(前半のリスト活用)
- ◆セキュリティレベルの低下
- ◆陳腐化・価値の変化
- ◆緊急時対応力の変化

セキュリティレベルの低下

感染症対策によるレベル低下

- 「換気」のために扉を開放・・・セキュリティ区画が開放状態

テレワークによるオフィス勤務人員の減少

- 「相互監視の目」が減少・・・不正監視レベルの低下

⇒セキュリティシステム（体制含む）と情報セキュリティの重要性増大。見直し・再構築の機会。

陳腐化・価値の変化

- 「富士通オフィス半減・8万人テレワーク」
- 「あいおいニッセイ・本社半減在宅定着」
- 東京ビジネス地区(都心5区／千代田・中央・港・新宿・渋谷区)の8月時点の平均空室率は3.07%、前月比0.30ポイント上昇。



Facilityへの要求事項が変化

- Facilityコストの見直し・・・固定費では無くなった
- 災害対策も意識・・・「立地リスク」「事業継続力」
- ネットワーク対応力重視
- 「安全・安心で快適な環境」

働く場所に求められるものの変化

- 「美観・知名度」から「安全・安心」重視へ
地名・建物のステータスから企業価値の評価への転換
- メンバー同士の交流、アイデア創出、コラボレーションやイノベーションの場としての役割の増加
高額投資してもアイデア創造空間にはならない問題
- 集中から分散へ
「痛勤」からの解放と「真・働き方改革」

緊急時対応力の変化

テレワークによるオフィス勤務人員の減少

- 自衛消防隊の編成・・・欠員多数
- ⇒ 全員が対応出来るようにする必要がある。
- ※ 出社人員が少ないため対応しやすい利点もある。

- 災害時の被災地域勤務人員が減少
- ⇒ 施設は限られた人員での対応を再構築（やれる事とやるべき事の整理と資機材の準備）
- ⇒ 企業はテレワーク型対策本部体制（従来の組織枠を超えた対策本部組織）の構築が不可欠

ピンチをチャンスに！

テレワークは東京一極集中解消のチャンス

- 首都直下地震による事業リスクの大幅な低減が図れる
- FMを含むコストの大幅な見直しによる価値創造投資を増額
- 健康経営を増進させる

リスクマネジメントを理解している人材が、新時代のリーダーになれる。

新型コロナウイルス対策チェックリスト 202010案

項目	やるべき事	具体的措置例
方針に関する事項	企業としての基本方針	企業の基本方針を内外に表明
	安全衛生にかかわる基本方針(健康管理・勤怠等)	健康管理・勤務中の留意事項・体調不良時の対応について具体的に提示し社内に徹底
	感染者発生時の対応基本方針	感染者、接触者の健康管理・行政報告・社外発表・閉鎖消毒等対応・再開継続方針の検討
FM戦略	ニューノーマルに向けた中長期のFM戦略の見直し	賃貸借契約内容、必要面積、オフィス仕様等の見直し
	働き方改革およびテレワーク対応による当面のオフィス運用の見直し	部門別区画の設置、間仕切り・飛沫防止シールド等の設置、換気・清掃・消毒の強化
	ニューノーマルに向けたワーキングスペース環境整備	働き方に関する新コンセプトの検討と非テレワーク業務のニューノーマル対応
テレワーク対応	テレワーク対応スペースの確保	シェアオフィス・サテライト等の活用。オフィス内の個室等テレワーク対応スペースの確保
	自宅以外のテレワーク場所の確保と感染予防対策	感染症対策を考慮したサテライトオフィス・シェアオフィスあるいはホテル等の臨時業務先の確保
	情報発信用スタジオ設備の設置	ネットワーク等での情報発信用撮影スタジオの導入(カメラ・照明・音響・換気・防音・背景・可搬性他)
行動自粛関係	災害等事案発生時の自宅使用備品の確保に関する事前啓発	感染症対策資材(マスク・石鹸・消毒等)および他の災害対策資材(地震・風水害等)を自宅備蓄確保指導支援
	移動先休憩・宿泊場所確保	外勤者の休憩・入浴・トイレ等の施設閉鎖に対する代替場所確保。特に長距離移動社員に配慮。
	来客時防護機材(マスク・フェイスシールド・手袋・消毒剤等の確保)	来客時及び面談時の防護機材の確保(手作りではなくPL対応品が望ましい)
	調達先の再確認	事案の発生に伴う影響の確認と、今後の状況変化に対する対応方針の確認・緊急時れ〜草木の再確認
	新規調達先の検討	現調達先トラブルの場合の代替調達先の検討および次期調達に向けた技術等確認
	資機材・交換部品の確保・不足時の代替措置検討	故障時および中長期保守を含めた必要部品等の在庫および調達見込みおよび代替品の検討・調達先検討
	工事等工程再確認・遅延時の対応検討	進行中及び予定の工事関係の必要資機材の確保および工程管理の確認と遅延時の対応措置の検討
施設・設備・運用	オフィスデザインの感染症対策体制へのシフト	オープンオフィスの見直し・対人距離の確保・間仕切りの導入
	手洗い・消毒・検温スペースの確保	施設あるいはオフィス入館時の手洗い・消毒・検温場所および資機材の確保
	1部門2チーム・別オフィス体制	業務のクロスワークおよび2チーム編成を実施し、別オフィスにて同時感染を予防。部門訪問者要注意。
	テレワーク対応オフィス区画の設置	web会議対応区画の準備(ネットワーク環境・背景・防音・換気)
	不特定多数利用区画の使用停止	共用スペースの閉鎖・椅子等の撤去、区画閉鎖の告知、事案終息後の有効活用の検討
	ロッカー室・更衣室の密集対策・清掃消毒の徹底	利用者制限・作業服通勤許可、清掃資機材準備及び利用前後の清掃の徹底
	飲食スペースの対人距離確保等感染予防対策	間仕切り・椅子の間引き・利用時間管理・清掃消毒機材準備及び利用前後の清掃の徹底
	飛沫防止間仕切り、空気清浄機等の設置	オフィス内間仕切り・対面スクリーン・空気清浄機・加湿器・除菌抗ウイルス機材等の導入
	換気および温度・湿度管理	定期的換気の励行・当番制、施設側空調設備の運転調整、HEPAフィルター等の導入調整、個人湿度管理
	施設利用予約制	共用必須施設の予約利用システムと利用時の対人距離・マスク等の徹底および清掃消毒の徹底
	施設管理機材の在庫管理	在庫管理システムの導入と「ジャストインタイム」方式の見直し・年間在庫の確保
	清掃消毒頻度増加対策	ドアノブ・書庫・複合機等の共用部分の定期的清掃消毒の頻度増加・当番制および資材確保
	共用機器の停止(給茶機・自販機・冷蔵庫)	業務上必須以外の共用機器の利用休止、マイポット等の持ち込み許可
	清掃・消毒機材・検温機材・感染者発生時の対応機材	組織として必要な感染症対策資機材の確保・保管および使用分補充の準備
	マスク・防護服・手袋・ゴーグル・faceシールド等社用資材の準備	組織として必要となる個人感染防護資材の確保・保管および使用分補充の準備
	施設内「集・近・閉」箇所の再点検および改善措置	スペースの拡充・利用時間の時間差、制服通勤等により「集・近・閉」を避ける工夫を実施
	移動経路の再検討	廊下・階段・出入口等の一方通行
濃厚接触者特定対策	行動エリアの限定。施設内行動の記録、濃厚接触者の検出あるいは特定	
エレベータ利用ルールの変更	定員の削減(密集防止)、「2up・3down」等の階段利用促進	
危機管理	自衛消防隊編成の再確認	テレワークによる出社社員の減少と交代制による自衛消防隊班編成の再考
	災害対策本部等の設置場所および開催方法の見直し	テレワークによる社員体制の変更及び役職者不在の増加、集合型対策本部の感染症対策
	テレワークでの災害対応訓練の実施	テレワーク前提の対策本部体制の構築と情報管理・意思決定・対応の具体的な訓練の実施
	セキュリティレベルの維持	感染予防とセキュリティ区画構築の両立・「守るべき対象」の保管場所再検討